

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	山陽小野田市立山口東京理科大学
設置者名	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
工学部	機械工学科	夜・通信	2	14	38	54	13	
	電気工学科	夜・通信			23	39	13	
	応用化学科	夜・通信			18	34	13	
	数理情報科学科	夜・通信			15	31	13	
薬学部	薬学科	夜・通信			64	66	19	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページにて公表 https://www.socu.ac.jp/summary/release.html の「5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画」中に掲載
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山陽小野田市立山口東京理科大学
設置者名	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページにて公開 https://www.socu.ac.jp/summary/information/organization.html の「役員名簿」に掲載
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2018年4月1日 2024年3月31日	産学官金連携、キャリア支援、学園都市構想
非常勤	株式会社役員	2022年11月1日 2024年3月31日	産学官金連携、キャリア支援、国際交流推進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山陽小野田市立山口東京理科大学
設置者名	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスの作成については、全学共通の「シラバス作成の手引き」に基づいて、教務システム(Universal Passport)でシラバス作成準備が整い次第、各担当教員がシステムで入力し作成している。また、各学科に教育点検委員会を設け、シラバスの内容の適合性の確認を行っている。 シラバスには、授業名(英文名を併記)、教員名、開講年学期、単位数、学年、科目区分、単位区分、概要、達成目標、成績評価方法、使用する教科書、参考書、履修上の注意、授業計画、担当教員のオフィスアワー等が記載されている。なお、担当教員の実務経験については、概要欄に付して記載している。 シラバスは年度の切り替わり(4月1日)と共に教務システム上で公開している。また学外者においても、ゲストユーザーとしてシラバス閲覧システムにアクセスすることができる。	
授業計画書の公表方法	大学ホームページにて公表 https://www.socu.ac.jp/departments/syllabus-shokai.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 達成度を評価するため、シラバスには科目ごとに達成目標・成績評価方法が明記され、それに沿って評価している。特に成績評価方法には、試験、レポート、演習・小問など各評価が成績に寄与する割合を示している。また各学部の学修簿において、下記のとおり成績評価基準を示しており、C評価：60点以上を合格として、単位を与えている。 【成績評価基準】 S：90点～100点 A：80点～89点 B：70点～79点 C：60点～69点 D：59点以下	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績表記 S, A, B, C, D のそれぞれに対応して評価ポイント GP=4, 3, 2, 1, 0 を与え、さらに授業科目の単位数から、以下の計算式によって GPA を算出している。GPA の計算方法は学修簿に記載し、学生に周知している。 $\text{GPA} = \frac{4 \times \text{S 修得単位数} + 3 \times \text{A 修得単位数} + 2 \times \text{B 修得単位数} + 1 \times \text{C 修得単位数} + 0 \times (\text{D 又は-の単位数})}{\text{総履修単位数 (D と-は含むが、N は含まない)}}$ ※表中の成績表記「-」は、履修登録した科目の未受験を表し GP=0 として計算される。 ※表中の成績表記「N」は、編入学以前や留学中の修得科目であって成績の読替不能を表し、GP=不定として GPA 算出の対象外となります。 GPA を基に、年度ごとの成績の分布資料を作成し、学習状況の把握をしている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	大学ホームページにて公表 https://www.socu.ac.jp/summary/release.html 「6 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準」中「・成績評価基準／GPA 評価」に掲載

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【卒業の要件】

学部学科を卒業するためには、4 年以上在籍し一般科目、基礎科目、専門科目、自由科目、ごとに定められた単位数以上を修得しなければなりません。

以下の表に、学部学科ごとに定められた卒業に必要な単位数の下限を示します。

学部	学科	一般科目	専門科目	基礎科目	自由科目	合計
工学部	機械工学科	22	63	39	4	128
	電気工学科	22	78	24	4	128
	応用化学科	22	74	26	6	128
	数理情報科学科	20	54	48	2	124
薬学部	薬学科	15	178	8	4	205

【卒業判定の手順】

学位授与方針に基づき、卒業要件を満たした学生は教授総会の議を経て卒業を認定する。

【学位授与方針】

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）について、以下のように定め、ホームページ上で公表するとともに、学修簿に掲載し、学生に周知している。

工学部ディプロマ・ポリシー

1. 人間や自然、環境を配慮して問題を解決できる能力を修得している。
2. 世界の動きや文化を理解できる教養と国際的に通用する言語能力を修得している。
3. 自己理解を深め自分の考えを的確に表現する能力を修得している。
4. 情報リテラシーと情報を有効活用する能力を修得している。
5. 社会に役立つ工学を開拓できる基礎学力と専門知識を修得している。
6. 先進技術の習得と工学に応用できるデザイン能力を修得している。

薬学部ディプロマ・ポリシー

1. 薬剤師・薬学人として活躍できる教養と倫理観、基本的な知識・技能を身に付けている。
2. 薬剤師・薬学人として薬学に関する知識と研究心(研究能力)を身に付け、問題発見・解決能力を身に付けている。
3. 薬剤師・薬学人として必要なコミュニケーション能力を身に付けている。
4. 薬剤師・薬学人として地域貢献をはじめとして広く社会に貢献する意欲を身に付けている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ホームページにて公表

<https://www.socu.ac.jp/summary/release.html> の「6 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準」の「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	山陽小野田市立山口東京理科大学
設置者名	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.socu.ac.jp/summary/information/finance.html 「財務諸表」に掲載
収支計算書又は損益計算書	https://www.socu.ac.jp/summary/information/finance.html 「財務諸表」に掲載
財産目録	—
事業報告書	https://www.socu.ac.jp/summary/information/plan.html 「事業報告書」に掲載
監事による監査報告(書)	https://www.socu.ac.jp/summary/information/finance.html 「監査報告書」に掲載

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 年度計画	対象年度: 2023 年度)
公表方法: 大学ホームページ (https://www.socu.ac.jp/summary/information/plan.html の「年度計画」)	
中長期計画(名称: 中期計画	対象年度: 2022 年度～2027 年度)
公表方法: 大学ホームページ (https://www.socu.ac.jp/summary/information/organization.html の「中期計画」)	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ (https://www.socu.ac.jp/summary/assessment.html の「自己点検評価書」) (https://www.socu.ac.jp/summary/information/plan.html の「事業報告書」中「業務実績及び自己評価結果」)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページ (https://www.socu.ac.jp/summary/assessment.html の「評価報告書」)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 工学部、薬学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.socu.ac.jp/summary/release.html （「1 大学の教育研究上の目的」の「学部、大学院の教育研究上の目的」））
（概要） ・工学部 工学部は、機械工学科、電気工学科、応用化学科及び数理情報科学科における教育研究を通じて、「工学」と「理学」の融合を目指した独創的かつ先進的な取り組みを行い、社会に役立つ工学を開拓できる専門及び応用知識の探求、先進技術及び工学に応用できる実験技術の教授を通じて、人間や自然・環境を意識して問題を解決できる能力、自己表現力や情報解析能力を高め、世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな科学技術者を育成する。 ・薬学部 薬学部は、「薬学をとおして人の健康を守る」という高い志と倫理観・研究心を持ち、薬剤師資格を得た優れた薬学人を養成し、もって山口県を中心とする地域に貢献することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.socu.ac.jp/summary/release.html の「6 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準」の「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」）
（概要） ・工学部 1. 人間や自然、環境を配慮して問題を解決できる能力を修得している。 2. 世界の動きや文化を理解できる教養と国際的に通用する言語能力を修得している。 3. 自己理解を深め自分の考えを的確に表現する能力を修得している。 4. 情報リテラシーと情報を有効活用する能力を修得している。 5. 社会に役立つ工学を開拓できる基礎学力と専門知識を修得している。 6. 先進技術の習得と工学に応用できるデザイン能力を修得している。 ・薬学部 1. 薬剤師・薬学人として活躍できる教養と倫理観、基本的な知識・技能を身に付けている。 2. 薬剤師・薬学人として薬学に関する知識と研究心(研究能力)を身に付け、問題発見・解決能力を身に付けている。 3. 薬剤師・薬学人として必要なコミュニケーション能力を身に付けている。 4. 薬剤師・薬学人として地域貢献をはじめとして広く社会に貢献する意欲を身に付けている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.socu.ac.jp/summary/release.html の「5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画」の「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」）
（概要） ・工学部 1. 大学の理念に基づいて各学科が定める教育目標を実現するための教育課程を編成する。 2. 高度な専門知識と応用技術を修得するとともに、人間や自然・環境を配慮した問題を解決できる能力、自己表現力や情報解析能力を修得できる体系的な教育課程を実践する。 3. 段階的な知識の修得を支援するため、一般的素養を深めるための「一般科目」、工学分野における各専門分野の基盤をなす「基礎科目」、専門家としての能力を養うための「専門科目」の 3 種類の授業科目を体系的に配置する。

4. 「一般科目」は、人文科学、社会科学、自然科学、健康科学、外国語等に関する科目を配置する。
5. 「基礎科目」は「基幹基礎科目」と「専門基礎科目」の授業科目を効果的に配置する。
「基幹基礎科目」は工学部の学生にとって必須な科目とし、「専門基礎科目」は 学科ごとに特色ある「専門科目」との接続を図る。
6. 「専門科目」を通じて、工学分野における高度な専門知識と応用技術、研究方法を修得し、事象の本質的な理解を深めるとともに、工学的な応用を創造できる能力と、課題を発見し解決できる能力を身に付ける。

・薬学部

1. 大学の理念に基づいて薬学部が定める教育目標を実現するための教育課程を編成する。
2. 高い倫理観と研究心を持ち、薬学をとおして人々の健康を守るという志と自己研鑽力を持った人材を育成する。その基本理念を実現するため、教育課程を編成する。
3. 入学時から卒業時まで一貫して薬剤師・薬学人として、豊かな人間性と高い倫理観を持ち、患者本位の視点で人の命と健康な生活を守るという使命感と責任感を醸成する。
4. 「一般科目」では、自然科学・人文科学の各分野を広く俯瞰した上で、人命を最大限に尊重することのできるヒューマニティ豊かな人材を育むことを目的とする。その上で、語学力・コミュニケーション能力を身に付けることを目的として教育を実施する。
5. 薬剤師・薬学人の知識の基盤となる基礎薬学の科目の修得を重視する。十分な基礎的な科学力の土台の上に専門性の高い科目を設定する。「専門科目」では、講義科目に加えて、多くの実習・演習等の関連科目を効果的に組み合わせることにより、薬学の各専門分野に関する知識と技能・態度を深化させる。
6. チーム医療を想定したスモールグループディスカッションを効果的に取り入れ、能動的な講義が中心になるよう編成する。
7. 地域の医療に貢献できる人材を養成するため、医療機関や地域における医療チームに積極的に参画し、薬物療法における実践的な能力を高めるとともに、相互の尊重のもとに薬剤師に求められる行動を適切に取れるよう指導する。
8. 卒業研究を充実させ、全教員が協力し、最先端の薬学研究にさまざまなアプローチから取り組む体制を構築する。卒業研究を通して教育能力・研究能力を持ち、問題解決能力の高い人材を養成する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表
<https://www.socu.ac.jp/summary/release.html> の「4 入学者に関する受入方針及び入学者の数 / 収容定員及び在学する学生数」の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」）

（概要）

・工学部

1. 大学の理念を十分理解している人を求めます。
2. 高等学校教育課程もしくは同等の学習内容を修了し、工学に関する基礎的並びに専門的知識を身に付ける上で十分な学力を有している人を求めます。
3. 工学の本質に迫る深い専門知識と工学的な応用を創造できる力の修得を目指し、地域産業界の中核で活躍する人材（キーパーソン）として活躍したいと希う人を求めます。
4. 科学技術を通して社会に貢献できる人材を育成するという本学の理念を理解し、科学技術者にふさわしい独創性、思考力、積極性、行動力を備えた将来性のある人材を求めます。

・薬学部

1. 大学の理念を十分理解している人を求めます。
2. 高等学校教育課程もしくは同等の学習内容を修了し、薬学に関する基礎的及び専門的知識を身に付ける上で十分な学力を有している人を求めます。
3. 薬学をとおして人の健康を守るという高い志と研究心・倫理観の習得を目指し、山口県地域をはじめとして日本全国で活躍したいと願う人を求めます。
4. 薬剤師養成の学部であることに鑑み、薬剤師としての業務への意欲を持ち、将来的に研

究心を持った薬剤師へと成長したいと願う人を求めます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ

(<https://www.socu.ac.jp/summary/release.html> の「2 教育研究上の基本組織」)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4 人	—					4 人
工学部	—	17 人	10 人	7 人	9 人	0 人	43 人
薬学部	—	21 人	8 人	11 人	8 人	0 人	48 人
共通教育センター	—	7 人	8 人	5 人	0 人	0 人	20 人
工学研究科	—	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	34 人	34 人

各教員の有する学位及び業績
(教員データベース等) 公表方法：ホームページ（研究者データベース）
<https://unipa.socu.ac.jp/kg/japanese/index.html>

c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

FD に関してはFD 委員会を設置し、FD に関する事項を企画・運営している。以下にFD 活動の事例を記載。

1. 授業観察

本学に新規に採用された教員に対して、FD 委員が授業に出向き教授方法等を観察し、改善点等があれば指導する。

2. 研究授業

教員相互の授業観察結果と学生による授業評価が高い授業を半期毎に選定し、教員が講義を参観するとともに、授業担当教員と参観教員との意見交換とワークショップを行い、優れた教授法や教授技能を教員間で共有している。

3. FD セミナーの開催

研究と教員の調和を図り、授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修の一環として、外部講師によるFD セミナーを毎年度開催している。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	260 人	285 人	110%	860 人	922 人	107.2%	若干名	1 人

薬学部	120 人	124 人	103%	720 人	714 人	99.1%	若干名	0 人
合計	380 人	409 人	108%	1580 人	1636 人	103.5%	若干名	1 人
(備考) 工学部数理情報科学科であるが今年度設置初年度であるため収容定員数は現状を記載。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	192 人 (100%)	51 人 (27%)	135 人 (70%)	6 人 (3%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	192 人 (100%)	51 人 (27%)	135 人 (70%)	6 人 (3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 山陽小野田市立山口東京理科大学大学院、九州大学大学院、太平洋マテリアル(株)、UBE(株)、マツダ(株)、(株)トクヤマ				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	223 人 (100%)	182 人 (81.6%)	29 人 (13.0%)	12 人 (5.4%)	0 人 (0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	223 人 (100%)	182 人 (81.6%)	29 人 (13.0%)	12 人 (5.4%)	0 人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
シラバスの作成については、全学共通の「シラバス作成の手引き」に基づき、教務システム (Universal Passport) でシラバス作成準備が整い次第、各担当教員がシステムで入力し作成している。また、各学科で教育点検委員会を設け、シラバスの内容の適合性の確認を行っている。
シラバスには、授業名 (英文名を併記)、教員名、開講年学期、単位数、学年、科目区分、単位区分、概要、達成目標、成績評価方法、使用する教科書、参考書、履修上の注意、授業計画、担当教員のオフィスアワー等が記載されている。なお、担当教員の実務経験については、概要欄に付して記載している。
シラバスは年度の切り替わり (4 月 1 日) と共に教務システム上で公開している。また学外者においても、ゲストユーザーとしてシラバス閲覧システムにアクセスすることができる。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 達成度を評価するため、シラバスには科目ごとに達成目標・成績評価方法が明記され、それに沿って評価している。特に成績評価方法には、試験、レポート、演習・小問など各評価が成績に寄与する割合を示し、達成度の水準を5段階（S, A, B, C, D）で判定している。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	128 単位	有 無	46 単位
	電気工学科	128 単位	有 無	46 単位
	応用科学科	128 単位	有 無	46 単位
	数理情報科学科	124 単位	有 無	46 単位
薬学部	薬学科	205 単位	有 無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.socu.ac.jp/summary/release.html の「6 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準」の「成績評価基準/GPA 評価」		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページにて公表 【表彰】 https://www.socu.ac.jp/campus-life/commendation.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページ (https://www.socu.ac.jp/campus-life/campusmap/index.html の「キャンパスマップ」) 大学案内：大学で配布、又は大学ホームページでダウンロード (https://www.socu.ac.jp/summary/pamphlet.html)
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	535,800 円	282,000 円 (市内在住者は 141,000 円)		
	電気工学科				
	応用化学科				
	数理情報科学科				
薬学部	薬学科			50,000 円/年	その他：実務薬学実習費 (令和4年度以降入学者)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 1. チューター制度 学生一人ひとりに担当教員（チューター）を設け、学習・生活指導を定期的を実施。1対1の個別指導のため、学生が作成する履修計画表の点検とアドバイスを行うなど、細やかに対応する制度を導入している。 2. 学習サポート教室 数学や物理、化学といった基礎科目の学びを、個々のレベルに合わせてサポートを行う。授業で十分理解できなかったことがあるといった相談に、アドバイザー（学生に年齢が近い助教）が丁寧に対応する制度を導入している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 工学部では1～2年の低学年時から正規授業に「キャリア形成科目」を設け、目的意識を養成している。3年時には「職業教育」において就職活動のための準備の科目を設けている。 就職支援対策 1. 学内合同企業説明会 学内で企業説明会を学部毎に年2回開催（令和4年度は工学部138社、薬学部111社招聘）し、一度に複数の企業と接触できる機会を設けている。 2. 公務員試験対策講座 一般常識、SPI、教養科目対策を行うことで、民間企業就職と公務員受験の両方に対応できる講座を設けている。 3. 進路相談 キャリア支援センターにキャリアコンサルタントやジョブサポーターを配置して、就職の事だけでなく、自分の将来や仕事のことを相談にのるだけでなく、保護者の疑問、質問にも丁寧に対応している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 1. 保健管理センター 月～金曜日9時～17時に保健師1名、看護師1名が在中し健康相談や創傷応急対応をしている。 2. 学生相談室 公認心理師（臨床心理士）を4名配置し、月～金曜日9:00～17:00（必要時は19時まで）は4名で心理的カウンセリング及び障害学生支援を行い、大学生活で困っている事等の心の面のサポート及び障害や特性により生じた修学・学生生活等において必要な支援を行っている。 なお、学生特別窓口を設け、障害等が理由で就学支援を希望する学生の相談窓口を設置し、速やかに学生相談室への橋渡しを行っている。 3. こころとからだの健康調査 在学生全員に対して健康診断時に「UPI（こころのからだの健康状態を把握するためのアンケート）」を実施し心身に問題のある学生の早期発見、早期治療に努め、発見した場合は公認心理師が即時に面談等を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ
<https://www.socu.ac.jp/summary/release.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F135210110089
学校名	山陽小野田市立山口東京理科大学
設置者名	山陽小野田市

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		180人	172人	188人
内 訳	第Ⅰ区分	89人	95人	
	第Ⅱ区分	64人	47人	
	第Ⅲ区分	27人	30人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				188人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	12人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	-		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-		
「警告」の区分に連続して該当	12人		
計	12人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	-
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
G P A等が下位4分の1	15人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	24人		
計	33人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。